

仕事に向かう準備を考える

「あいあい」

就労準備支援講座を開催

うるま市みどり町の「精神障害者地域生活支援センターあいあい」で、この度、利用者を対象にした「スモールステップセミナー」が実施された。これは利用者の就労に向けた準備を支援する目的で開催されたもの。3日間のプログラムのうち、取材に訪れた初日は「基礎コース」として社会人として仕事に向かうための準備について学んだ。講師は、地元の企業経営者や



講師の言葉に真剣に聞き入る受講者

ハローワークの職員、NPO関係者らが務め、それぞれの分野から講話を受けた。「企業が求める人材」というテーマで講話した翁長電気工事の翁長秀樹専務取締役は、「企業が自分に何をしてくれるかではなく、自分が企業に何ができるか」を常に意識してほしい」と訴えた。各参加者はメモを取りなが

菜園で学ぶ食の豊かさ

小川保育園(西原町)

西原町の小川保育園(田仲美智子園長)では、18年前の開園当初から園に隣接した菜園で季節の野菜を栽培している。「野菜が日に日に大きく成長していく様子を見守り、自然に触れさせてあげたい」とスタートしたのが始まり。菜園は地元の方から無償で提供してもらったもの。菜園を通じ、そこを訪れる地域住民との交流も生まれている。取材に訪れた日は園児たちが力をあわせて水やりを行っていた。

スーパーや食卓に並ぶ野菜がどのようにして出来るのかを体験を通して知り、また、採れた野菜を味わう喜びを体験することで園児に「食」の大切さを伝える効果もできている。同園の保育士、田仲美智子さんは、「子どもたちは体験して覚えるもの。野菜づく

ら熱心に講話に耳を傾けていた。その後、振り返りのミーティングで学んだ事への理解を深めた。同セミナーを主催した「あいあい」の比嘉智子所長は、「利用者が就労して長く働いてもらうために、社会人として仕事にどう向き合ったらよいかという基本的な部分を理解してもらいたい」と語った。



収穫したピーマンを手に笑顔の園児たち

りをする中で食べ物の大切さも自然と伝わります」と話す。親子でのミニプランター作りや稲の栽培など新しい試みも始まっている。これからの菜園活動を通じ、豊かな心を育てていくことだろう。

憩いとふれあい  
いしみね地域福祉まつり

8月10日、石嶺児童園グラウンドを中心に、第32回いしみね地域福祉まつり(主催 同まつり実行委員会)が開催された。これは、首里石嶺地区に設置される各福祉施設の関係者と地域住民との親睦を深めることを目的に毎年実施されているもの。

沖縄県総合福祉センター多目的広場ではオーブンギイベントとして、琉星太鼓他によるステージ演奏のほか、各種展示や体験コーナーが設けられ、多くのまつり客が詰めかけた。特設のやぐらが設置された石嶺児童園のグラウンドでは盆踊りや演舞が披露され、福祉施設の利用者と地域住民、ボランティアらが交流を行い、終始、満足げな笑顔であふれた。



オープニングイベントも大盛況

ナイトケアで安心サポート  
夕刻の憩い、孤独を解消

野の花作業所(大里村)

県内で初めて実施

大里村にある精神障害者小規模作業所「野の花作業所」(山城正人所長)では、今年5月から、ナイトケアを実施している。これは作業所の利用者の夕方以降の時間帯に夕食作りや憩いを通じて、孤独や不安感を解消し、自立した日常生活を支援することが目的となっている。

日中、作業所での活動を終えた利用者が、帰宅後に一人になることで孤独



みんなで囲む食卓。楽しいひと時

を感じたり、無為に過ごすしてしまうといったケースがみられるが、夕方の時間帯を利用者同士で過ごすことで、気持ちの安定が図られる。

この活動は県内初の試み。利用時間は、週3回、午後5時から8時までの3時間。参加費は1回200円となっている。夕食に必要な食材購入も利用者が行うことで正しい金銭感覚を身につける狙いもある。調理の指導には調理師の資格を持つ職員があたり、利用者全員で夕食をとり、終了時にはスタッフが自宅へ送迎する。

山城所長は、「かつては、大家族や地域の中で障害者の生活を支え合っていたものが、核家族化や入所型施設が増加により、高齢者や障害者に関わる機会は減少してきている。ナイトケアでは、職員の子どもと一緒に過ごすなど、年齢や障害のある無しに関わらず、昔は普通に感じられていたと思われる家庭的な雰囲気や、地域福祉の姿を取り戻すきっかけになればと思う」と話した。

「ほっと」なニュース求む

沖縄県社協広報係では、広報紙「福祉情報おきなわ」で紹介する県内の福祉に関するニュースをお待ちしています。掲載してほしい情報がありましたら、ご連絡ください。

安心を支えます

ボランティア活動保険

ボランティア活動中のケガや賠償事故を幅広く補償!

特長

- 宿泊を伴う活動もOK
- 防災・災害のボランティア活動もOK
- ボランティア自身の食中毒や特定感染症もOK
- 天災(地震等)によるケガもOK  
(天災タイプ加入の場合)

プラン	金額
Aプラン	300円
Bプラン	500円
Cプラン	700円

天災を補償するプランもあります。



ボランティア行事用保険

ボランティア行事に参加中のケガや賠償事故を補償!

福祉サービス総合補償

介護保険サービス・地域サービスなどの活動中のケガや賠償事故を補償!

送迎サービス補償

送迎サービス中の交通事故や搭乗中のケガなどを補償!



お申込み、ご契約は、最 nearby の地域の社会福祉協議会へ  
団体契約者 全国社会福祉協議会

この保険は、全国社会福祉協議会が標準的な一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区西が丘3-3-3 新西が丘ビル  
TEL.03-3581-4667 FAX.03-3581-4763 <http://www.fukushihoken.co.jp>